

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(船越小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 地域の協力を得られるような情報発信を心がけ、地域とのつながりが徐々に形になっていくようにする。
 - ・ボランティアの組織化
 - ・クラブ活動等、地域の方のお手伝いや、学年保護者では活動できないと予想される活動への支援
 - ・PTAとのつながりの明確化

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校教育目標、経営理念、グランドデザインについての学校からの説明を、委員が共通の理解をして共有ができ、熟議を進めることができた。
- 委員相互の信頼関係も深まり、さまざまな視点で活発な議論を進めることができた。
- 令和6年度の重点が追加され、分かりやすく、理解しやすいものとなったと思う。
- 形上の議論になってしまっていた感じがする。話の論点がずれてしまうこともあるが、時間も限られるので、議長が軌道修正する必要もあるのではないか。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 今年度は花壇の植え付け、野菜の苗植えができた。また、70周年に向けて、様々な世代の卒業生の方に話を聞く機会ができるなど、ボランティアの方に来ていただくことができた。
毎年継続できるよう希望したい。難しいとは思いますが、早目に依頼していただけると、地域の方とつながりやすいと感じた。
- 地域活動が活発な自校の特色を活かした連携について、課題解決に向けた議論ができた。
- 「あいさつの活性化」については、児童以上に地域や家庭が担う役割が大きく、熟議を重ねることができた。
- 前年度より更にふみ込んだ内容で議論ができたと思う。メンバーの意見も1人だけでなくすべてのメンバーが、それぞれ発言する会になっていると思う。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- コミュニティー・スクール便り、学校便りは各自治会で回覧される。ボランティアの募集などにも積極的に活用してほしい。
- HPでも内容を閲覧できる。
- 協議会の会議を重ねるたびに、会の中での情報は更新されていると思う。
- SNSなど手軽に情報を発信、受け取れるツールの活用を模索し、実現にはハードルがあるが、今後の環境整備に期待したい。
- 情報発信は誰が誰に行っているものを差すのか？今ひとつピンとこない。
- 十分な情報発信の方法がないので、出来なかったと思う。情報発信の方法についても熟議の必要があると思う。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ボランティアの組織化。現在あるボランティアへの協力。
- 地域の方達とのつながりをより強化していきたい。学校に協力できる方たち、組織等の把握をしていきたい。
- 3年間の反省を踏まえ、しっかりと学校の支援に繋がるように会議も進める。教員にもCSを知ってもらう機会をつくり、各担任が何を望むのかなどの声が聞けると良い。
- 地域の方々に学校の目指す姿や協議会の活動を知っていただき、協力体制ができていけば良いと思う。
- 委員が交代しても、協議会が学校の目指す姿に進むための応援ができる事を望む。特に、地域の方々に、学校の目指す姿や協議会の活動をしってもらい、協力体制ができていけば良いと思う。
- 子供ファーストの気持ちで、更に子供達のがびのびと活動できる場（船越小学校）となる様、議論していく必要があると思う。